学際高等研究教育院・学際科学フロンティア研究所共催

全領域合同研究交流会

平成30年度 前期第２回

5月 8日（火） 13:00～

会場：学際研・研究教育院棟 １階セミナー室

ポスター発表(13:00-13:50)

『解決の作り方－その方法と実際－』
― 高木　源（教育学研究科 / 人間・社会領域）

『電子ホログラフィックディスプレイの開発』
― 磯前　慶友（工学研究科 / デバイス・テクノロジー領域）

『翻訳装置リボソームの修飾によるストレス応答制御』
― 松木　泰子（薬学研究科 / 生命・環境領域）

『神経伝達物質の電気化学可視化デバイスと燃料電池触媒の開発』
― 阿部　博弥（環境科学研究科 / デバイス・テクノロジー領域）

『光合成増強、光合成抑制イネの野外環境での光合成の解析』
― 菅波　眞央（農学研究科 / 生命・環境領域）

『シード自由電子レーザーを用いた光イオン化の
アト秒スケール経過時間計測』
― Daehyun You（理学研究科 / 先端基礎科学領域）

口頭発表(14:00-)

『集中治療分野におけるビッグデータ解析による
転帰予測システムの作成』
Creation of mortality prediction system by bigdata analysis
in the intensive care medicine
― 小林　直也（医学系研究科 / 情報・システム領域）

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。

学際高等研究教育院生一同

次回予告

平成 30 年度前期 第 3 回：6 月 28 日（木）13:00~

※詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします
http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/

お問合せ：
学際高等研究教育院　総合戦略研究教育企画室
022-795-5749 E-mail:senryaku@iiare.tohoku.ac.jp

Tohoku University Division for Interdisciplinary Advanced Research and Education
学際高等研究教育院
DIARE

東北大学
学際科学フロンティア研究所
Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences